

## 令和3年秋期 六浦地区推進連絡会

### 1 日時

令和3年10月19日(火) 18:00~19:15

### 2 場所

瀬戸神社 社務所2階

### 3 参加者

(地域側) 自治会等地域団体関係	18名
(大学関係)	
横浜市立大学、関東学院大学	2名
(支援チーム、その他行政側)	
区役所	8名
区社会福祉協議会、地域ケアプラザ	5名
	計33名

### 4 意見交換要旨

司会：六浦地区連合町内会事務局長・地区社会福祉協議会副会長

(1) 開会のあいさつ（六浦地区連合町内会会長及び社会福祉協議会会長）

(2) 区長あいさつ（金沢区長）

(3) 出席者の紹介

地域、学校、区、支援チームの各自自己紹介

(4) 第4期金沢区地域福祉保健計画について

① 区計画について（金沢区役所福祉保健課 事業企画担当係長）

② 地区別計画について ※第4期地区別計画策定シート参照

キャッチフレーズ「支えあい学びあい笑いあい三つの「あい」ある六浦へ」

<地域でいきいき楽しい老後>（地区社会福祉協議会福祉活動第1部会委員長）

- ・高齢者の見守り
- ・高齢者のお花見会
- ・敬老会 ⇒ 記念品を配付
- ・高齢者の居場所づくり ⇒ 健康麻雀は休止中
- ・学童とのふれあい給食会
- ・学童とのふれあいタイム
- ・昔遊びの会

<楽しい仲間づくり> (地区社会福祉協議会福祉活動第1部会委員長)

- ・研修会
- ・社会見学

<子育てしやすい環境づくり> (地区社会福祉協議会理事)

- ・子育て支援活動(ハイハイくらぶ) ⇒ 9月は休止。10月に再開。
- ・むつりんぴっく ⇒ 今年度は中止。来年度は実施予定。

<子どもから高齢者までみんなで集まろう>

(地区社会福祉協議会福祉活動第2部会委員長)

- ・春季ハイキング ⇒ 30年続いていた「じゃがいも掘り」も中止。
- ・秋季ハイキング ⇒ 中止
- ・お祭り ⇒ 中止

<安全・安心なまちにするためにみんなで力を合わせる>

(地区社会福祉協議会総務企画委員長)

- ・社会を明るくする運動  
社明大会 ⇒ 10/23(土)開催予定。参加者を限定するため(密を避けるため)に掲示板へのチラシ掲出や回覧等はしていない。  
ミニ集会 ⇒ R4/3/4(金)開催予定
- ・福祉講座 ⇒ 12/4(土)開催予定
- ・地域ケア意見交換会 ⇒ R4/2/5(土)開催予定だが、コロナ感染状況によっては中止とする。
- ・子どもの見守り(連合会計・地区社会福祉協議会副会長)
- ・防犯パトロール(〃) ⇒ 月1回、夜間パトロールを実施している。
- ・災害時に備えた取り組み

<社協の取り組みをわかりやすく伝える>

(地区社会福祉協議会広報啓発委員会委員長)

- ・「広報誌」(年1回)、「むつうらのたより」(年2回)を発行予定。

<担い手不足の解消> (連合・地区社会福祉協議会副会長)

- ・仲間づくり ⇒ 地域の活性化策として学生も巻き込みたい。
- ・ホームページ構築 ⇒ 議論中。各町内会のホームページを作成し、それを連携させたい。

(5) 意見交換(司会者から)

- ① 障害のあるお子さんの通学サポートに対する地域での支援について
  - ・2年生になり体力も付いて、下校はスムーズにできるようになった。
  - ・月～金までの間で週1回はサポートできない日がある。朝は時間がかか

っている状況。(地区社会福祉協議会理事)

- ・将来的に自分一人で通学できるようにサポートするのが趣旨なので、「車で送り迎えしてしまう」という解決策は違うのではないかという意見もある。(連合事務局長・地区社会福祉協議会副会長)
- ・車やミニバスを使用することも学校内では意見が出ている。本件については、今後も検討していきたい。(六浦小学校長)
- ・様々な福祉サービスの利用や関係機関との連携を学校と相談しつつ検討していくことが重要だと思う。(瀬ヶ崎小学校長)

② 六浦地区の担い手不足解消に向けた情報発信について

担い手不足の解消のために、情報発信が必要だと考えており、具体的にはホームページ作成が必要だと考えている。しかし、現在地域で活動している人の中にはどうしてもこのようなスキルのある方が不足していて、なかなか進められていない状況について、進め方等ご意見いただきたい。

- ・地域全体で課題となっている。ホームページについては、魅力あるホームページを作りたい。区社協とも連携して進めていきたい。

(地区社会福祉協議会福祉活動第1部会委員長)

- ・LINEの活用や担当地域を決める等の意見もある。(連合事務局長・地区社会福祉協議会副会長)
- ・区社協のホームページは持っている。現在、SNSに取り組んでいる。地区社協との連携も呼びかけているところ。ホームページは維持・管理に手間がかかる。その点、SNSは手軽に利用可能であり、地区社協にも、連携した発信を提案しているところ。

ホームページにも力を入れていく予定。区社協のページ内に、これまで以上に地区社協の情報を充実していき、そこから情報が取れるようにしていきたいと考えている。地域の皆さんに「SNS」や「ホームページ」の便利さを実感してもらいたい。

区社協では「情報発信」をしており、地域ケアプラザではスマホ講座等で「スマホを使う」、「情報を活用する」ということをしてもらっている。そういう形でより力を合わせていきたいと考えている。

(金沢区社会福祉協議会事務局次長)

③ 古民家リノベーションについてもっと地域と協働して進めることはできないか。

- ・「せとさんち」について、学生が計画的かつ楽しそうに活動している。それだけでも意義があると思える。(地区社会福祉協議会事務局長)
- ・当該活動については、行政として支援させていただいており、地域と連携して進めるようお願いしている。学生としても急に地域に飛び込んでいくのはハードルが高く感じている様子。今後も行政として、地域と繋げていくお手伝いをしていきたい。(地域振興課地域力推進担当課長)

- ・地域と学生が連携していくことが重要。「もりのお茶の間」のようになってほしい。
- ・緊急事態宣言中には学校からの制限もあり、進捗が遅かった面もあったと思う。10月以降はイベントも開催しており、学生らしく SNS 等を活用した広報もしている。今後、地域や金沢区役所とも連携して進めていきたいと思う。(横浜市立大学企画財務課地域貢献担当(地域貢献センター)係長)

(6) その他 各機関から

(六浦小学校長)

明治6年に開校し、令和5年に150周年となるため、その準備も始まった。六浦の歴史や文化、福祉を学べる学校づくりを目指して、地域と連携して進めていきたいので、よろしくお願ひしたい。

(瀬ヶ崎小学校長)

自宅勤務が増加しているので新たな担い手を探すチャンスであると考えている。また、地域の方や学生とイベントをした際に、子どもに同伴している保護者とのつながりを大切にしたいと感じた。近況としては、運動会や修学旅行の準備で忙しくなっている。地域の方々にはいつも支えていただいて、ありがたく思っている。(瀬ヶ崎小学校長)

(六浦中学校長)

10/4から一斉登校。リバウンドを警戒し、2週間は短縮授業とした。来週からは、横浜市のガイドライン沿った形にする予定。授業中のグループ学習等を再開する。地域貢献の一つとして、子どもたちが、学校を介さず、自分の意志で防災訓練へ参加するなど地域との関わりを持っていけるようになるのを目指している。

(関東学院大学社会連携センター係長)

10月中は、原則オンライン授業としている。来週から対面授業等を再開する。

(横浜市立大学企画財務課 地域貢献担当(地域貢献センター)係長)

10月中は、原則オンライン授業としている。来週から半分程度ではあるが対面授業等を再開予定。課外活動については、引き続き一定の制限を設けていく。情勢に合わせて対応していく。

(地区社会福祉協議会理事・保護司)

保護観察状況が、ここ10年で一番少ない。中学生の該当者が0というのが安心できる。

(7) 閉会のあいさつ (六浦地区連合町内会副会長及び地区社会福祉協議会副会長)